

事務事業評価資料

施策名	資源循環型林業の構築			所管部局課名	農政環境部農林水産局林務課				
事業名	低コスト経営団地整備事業			担当者電話番号	構造改善係 内線4113				
事業目的	森林を団地化し、効率的な施業が可能な「低コスト経営団地」を設置することにより、安定的に原木を供給する。								
事業内容	森林の団地化のための調査等と高密路網形成のための作業道開設への助成 補助対象者 市町、森林組合、(社)兵庫みどり公社、素材生産業者、森林所有者等 補助対象経費 作業道開設経費の4/10以内ほか				事業開始年度	平成18年度			
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(0千円) 17,000千円		(0千円) 17,000千円		(0千円) 17,000千円			
	人件費	8,914千円	従事人員 1.0人	8,471千円	従事人員 1.0人	8,360千円	従事人員 1.0人		
	総コスト(+))	25,914千円	従事人員 1.0人	25,471千円	従事人員 1.0人	25,360千円	従事人員 1.0人		
事業の目標	低コスト経営団地を平成18年度から平成22年度に年間7団地設定する。			[目標設定理由] 安定した原木の供給量を確保するため。					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	低コスト経営団地設定数	7団地/年	18~22	8団地/年 (2,125千円)	10団地/年 (1,700千円)	7団地/年 (2,429千円)	114.3	142.9	100.0
評価結果	必要性	・県産木材供給センター(年間取扱量10万m ³)の本格稼働にあわせ、県産木材を安定的に供給し、さらなる利用促進を図る必要がある。 ・このため、森林の団地化と高性能林業機械を活用する作業道整備を実施することにより、効率的で低コストの作業システムを実現した「低コスト経営団地」を設置する							
	有効性	・50ha程度のまとまりのある森林において団地化のための調査、計画書作成を実施し、高性能林業機械を活用する高密路網を整備することで、低コストで安定的な原木生産が可能となる。							
	効率性	・原木の安定供給のために重要な役割を果たすことが期待される森林所有者、森林組合に対し補助することにより、低コスト経営団地の設置の推進を効率的に行うことができる。							
	民間・市町との役割分担	・県は事業費の補助と低コスト作業システム実施の指導、市町は森林所有者の合意形成のための調整、森林組合等は団地設定のための計画作成、作業道の開設、原木生産を行う。							
	受益と負担の適正化	・団地化支援に対しては補助率1/2、作業道開設には補助率4/10であり、受益者にも応分の負担を求めている。							
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し				
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定		
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
	説明	県内の森林資源は成熟化しており、有効に活用することが求められている。平成22年に県産木材供給センターが稼働する予定であり、安定した原木の供給のために低コスト作業システムを実現するため継続して実施する。							